

令和元年度「ALS 基金」研究奨励金交付対象の決定 ～研究奨励金の概要、研究テーマ、交付金額および交付者～

研究助成部

1 「ALS 基金」研究奨励金の概要

ALS の原因究明と治療法の確立、療養生活の改善は、患者・家族の方々の大きな願いであり、当協会の目的でもあります。そのため、広く社会に呼びかけ、募金活動を行い平成 4 年度に「ALS 基金」（当初は「ジャルサ基金」）を設立しました。これを原資にして「ALS 基金」研究奨励金を平成 7 年度に創設し、ALS の原因究明や治療法に関する研究、福祉機器開発に関する研究、看護・介護向上、療養環境の整備・改善に関する研究などに対する助成を開始しました。平成 30 年度までに約 8,750 万円（119 件）、内訳では原因・治療研究 6300 万円（65 件）、福祉・介護 2,450 万円（54 件）を交付しています。

研究奨励金の交付決定にあたっては、以下の選考委員の先生方をお願いしています。

< 選考委員（50 音順） >

青木 正志^{*1} 東北大学医学部神経内科 教授・科長
石松 隆和^{*2} 長崎大学地方創生推進本部 教授
石山 麗子^{*2} 国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授
糸山 泰人^{*1} 国際医療福祉大学 名誉教授
岡本 幸市^{*1} 公益財団法人 老年研究所 所長
木村 格^{*3} 社会福祉法人 函館厚生院ななえ新病院
清崎 由美子^{*2} 一般社団法人 全国訪問看護事業協会 事務局長
葛原 茂樹^{*1} 鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科 特任教授
近藤 清彦^{*3} 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 脳卒中・脳神経センター 顧問
佐々木 彰一^{*3} あがの市民病院 神経内科 部長
渋谷 智恵^{*2} 公益社団法人 日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 課長
嶋守 恵之^{*2} 一般社団法人 日本 ALS 協会 会長
祖父江 元^{*3} 名古屋大学大学院医学系研究科 特任教授
田中 栄一^{*2} 独立行政法人 国立病院機構八雲病院 作業療法士
林 秀明^{*3} 東京都立神経病院 元院長

【注記】 *1：分野Ⅰの選考、*2：分野Ⅱの選考、*3：分野Ⅰ及びⅡの選考

2 令和元年度交付対象者

令和元年度「ALS 基金」研究奨励金交付テーマの公募を平成 31 年 1 月から平成 31 年 2 月にかけて行いました。応募数は 15 件で、選考委員による選考の結果、以下の方々に決定しました。

■応募件数：15 件

（内訳）

1. ALS の原因究明に関する研究 4 件
2. ALS の治療法に関する研究 4 件
3. ALS 患者の福祉機器開発に関する研究 3 件
4. ALS 患者の介護向上、療養環境の整備・改善に関する研究 4 件

■ 交付対象研究テーマ

I 原因究明および治療法に関する研究（3 件、400 万円）

- ① 「モデルマウスを用いた孤発性筋萎縮性側索硬化症の上位運動ニューロン障害の原因解明」

東京医科大学・講師

ひでやま たくと
日出山 拓人氏 100 万円

- ② 「筋萎縮性側索硬化症脊髄に浸潤する活性化ミクログリアに発現するガレクチン 3、p22 の意義と早期診断マーカーの創出」

九州大学大学院医学研究院神経内科学・共同研究員

はやし しんたろう
林 信太郎氏 100 万円

- ③ 「ATXN80S 遺伝子の非翻訳領域反復配列延長による筋萎縮性側索硬化症の病態解明と治療法開発」

近畿大学医学部 神経内科学

ひらの まきと
平野 牧人氏 100 万円

II 福祉機器の開発および看護・介護向上等に関する研究（2 件、50 万円）

- ① 「試験データ利用による Yes/No 意思伝達装置の正答率向上」

東洋大学 工業技術研究所・客員研究員

おざわ くにあき
小澤 邦昭氏 50 万円

- ② 「人工呼吸器装着中の ALS 患者・家族および支援者が経験した災害応急対策期の行動調査：大阪府北部を震源とする地震（大阪北部地震）と台風（第 21 号）被害から」

大阪急性期・総合医療センター 大阪難病医療情報センター
難病医療コーディネーター

のまさ かよ
野正 佳余氏 50 万円